

平成 29 年度

学校関係者評価委員会報告書

盛岡社会福祉専門学校

平成 29 年 5 月 12 日

学校関係者評価委員会を開催いたしましたので、下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時および場所

- (1) 日時:平成 29 年5月9日(火)午後2時～4時 40 分
- (2) 学校法人コアトレース 2階会議室

2 学校関係者評価委員会委員出席者

	氏名	委員会 役職	選出区分	所属
1	米田 勝彦	委員長	企業・業 界団体	特別養護老人ホーム都南あけぼの荘 施設長
2	伊藤 泰彦	副委員長	高校等関 係者	盛岡大学附属高等学校 教諭
3	狩野 美紀雄		企業・業 界団体	盛岡ターミナルビル株式会社 ホテルメトロポリタン盛岡料理長
4	藤原 留美		卒業生	菜園調理師専門学校 卒業生
5	山崎 聡		卒業生	盛岡社会福祉専門学校 同窓会輝 咲会会長 介護福祉科 卒業生

3 学校関係者評価委員会報告 別紙のとおり

(別紙)

【各評価項目について】

(1) 基準1 教育理念・目的・育成人材像等

・定められている教育理念、目的に従い教育がなされている。今後も継続してほしい。

(2) 基準2 学校運営

・適切に公開されている。今後、情報公開の際は図解化されたものなどがあればより解りやすい。

(3) 基準3 教育活動

・法改正などで制度は目まぐるしく変わるので、最新の知識を持って就職するよう指導してほしい。
・社会では教育課程においても「接遇」について力を入れて教えてほしい。
・コンプライアンスに関して、学校としても十分に配慮するよう教育してほしい。

(3) 基準4 教育成果

- ・就職率 100%ということは素晴らしいことである。入学希望者にとっても非常に印象が良いので広報としてもアピールしたほうがよい。
- ・同窓会があり、卒業生と学校が連携していることはとても良いことである。様々な場面で活用していくことが望ましい。

(4) 基準5 生徒支援

- ・奨学制度など進学しても経済的に優遇された制度があることをもって全面的にPRする必要があると考える。
- ・各種団体のコンクールの出場することはとても意義のあることなので推奨していくべきである。結果は積極的にPRしていくべきである。

(5) 基準6 教育環境

- ・即戦力を養成する専門学校として必要十分な教育環境である。

(6) 基準7 生徒募集と受入

- ・就職後、給与面で安定して生活していけるのかという情報は、高校生の進路選択において非常に重要なので、広報媒体の中で明らかにする必要がある。
- ・「他校と比較して学費が安い」「街中にある」「5コースを選択できる」など学校の特長をアピールしていくことが広報の課題である。

(7) 基準8 財務

- ・入学者が減少して厳しい状況ではあるが、学校の魅力をPRして入学者を増やすよう努力してほしい。

(8) 基準9 法令等の遵守

- ・法令は遵守されている。今後も自己点検・自己評価、学校関係者評価を継続して情報公開を行っていくべきである。

(9) 基準10 社会貢献

- ・各種イベントへの出店やボランティア活動にも積極的である。今後も継続して実施してほしい。